

そこが聞きたい!!

一般質問

一般質問のようすは、インターネットで配信をしています。2次元コードから、該当議員の動画へアクセスできます。(パソコンやスマートフォンで視聴できます。閲覧可能期間は2年間です)

☑ 一般質問は、議員が市政全般について、自由なテーマで市長に質問・政策提言を行うもので、市民の声を市政に届けるものです。6月定例会では、18名の議員が一般質問を行いました。ここでは、質問と答弁の一部をご紹介します。なお、質問の内容は、質問した議員が作成しています。



人口減少と社会保障給付費増大は喫緊の課題

千葉 良秋 (健政会)



録画配信の
2次元コード

◆子育て支援事業の拡充にむけて

基幹型保育所の機能充実を重点施策と捉え推進することが必要であると考え、具体的な施策の内容は。

こども支援部長 令和6年1月に開所予定の入曽地区子育て支援拠点施設に移転する水野保育所を、地域の子育て支援の中核としての役割を担う基幹型保育所に位置づけ、子育て世代包括支援センター機能を付加することにより、相談機能の充実を図り、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を行っていく。なお、基幹型保育所は、市内4つの教育・保育の提供区域ごとに設置予定だが、残る3か所の整備は、移転後の水野保育所の基幹型保育所としての運営状況などを踏まえ、検討していく。

◆高齢者の知識・技術有効活用は

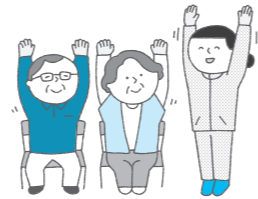
市内には語学に堪能な方や数学・物理の得意な方など、さまざまな高齢の方が在住するが、そうした方々を教育や企業の支援に活用する考えは。

市民部長 分野ごとに知識や技能を持った活力ある人材をいかせる市民団体がある。今後も地域で活躍できるよう支援するとともに、スキルに応じて人材をいかせる方法を検討していく。

◆社会保障給付費の抑制

医療費、介護給付費の抑制策は。

健康推進部長 医療費は健康診査の受診促進やジェネリック医療品の利用促進、介護給付費は介護予防の取り組みをより一層推進することである。



その他のテーマ▶ 出生率向上への取り組み
▶ 社会増への取り組み ▶ 高齢化社会の活力維持



新しく生まれ変わる入曽駅周辺のために今なすべきこと

町田 昌弘 (健政会)



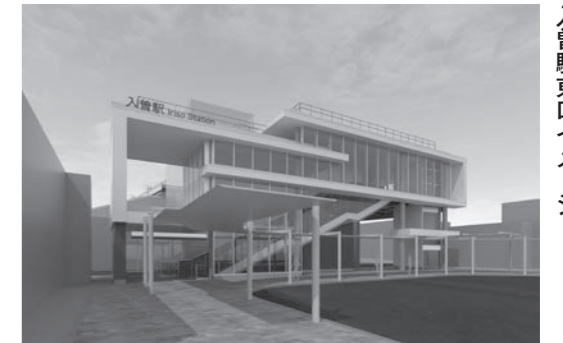
録画配信の
2次元コード

◆まちびらきまで2年とない中、周辺道路の混雑が心配

①入曽交差点の整備予定は。
②入曽駅入口交差点から入曽地域交流センター入口までの経路は、安全のため歩道整備が必要と考えるが、見解は。
③新たな入曽駅西口自転車駐車場の安全対策は。
都市建設部長 ①令和7年3月の入曽駅周辺整備事業のまちびらきの時期を念頭に、取り組んでいく。
②現在、入曽駅周辺整備事業により整備を進めている区画道路1号線から県道所沢狭山線の入曽駅入り口交差点までの間の市道B第296号線の歩道整備を進めている。その先の経路となる県道所沢狭山線の歩道整備について、県へ確認

したところ、県道川越入間線の入曽交差点整備と、入曽交差点から入曽駅入口交差点の県道所沢狭山線の整備を優先的に進めているとのことである。

市民部長 ③道路管理者や狭山警察署と連携して、路面標示や注意喚起の看板の設置と併せて、通学時間帯による交通指導員の配置など、必要な対策を講じていく。



入曽駅東口イメージ

その他のテーマ▶ 自転車駐車場



学校給食費無償化／広島への中学生派遣事業の再開に向けて

橋本 亜矢 (日本共産党)



録画配信の
2次元コード

◆狭山市の学校給食費無償化に向けて

①市内小中学校の児童・生徒の人数と、年間の給食費の負担額は。

②市民から要望の声が多く出ている学校給食費の無償化を行うとしたら、どのようなことが課題になるか。

学校教育部長 ①小中学校の児童生徒数は、小学生6,156人、中学生3,293人であり、学校給食費の年間の保護者負担額については、1人当たり小学生が月額4,300円、年間4万7,300円、中学生が月額5,000円、年間5万5,000円である。

②現在、学校給食費の無償化について具体的な検討は行ってない。課題としては、令和5年5月1日現在の児童生徒数から試算した場合、年間約4億7,000万円の財源確保が必要となる。

◆中学生の広島派遣、再開の考えは

10年間取り組んだ「中学生を広島平和祈念式典へ派遣する事業」によって得られた成果と派遣事業の再開の考えは。

企画財政部長 心身ともに大きく成長する中学生にとって、平和記念式典への参加をはじめ、平和記念資料館や原爆ドームの見学は、次世代を担う子どもたちが戦争の悲惨さと平和の尊さを学ぶ大切な機会になるとともに、深い印象と記憶を残す貴重な経験になったものと考えている。しかし、中学生の身体的な負担や参加人数も限られることから、現在のところ派遣の再開は考えていない。



ゴールデン・ウィークは市内で過ごそう

福田 正 (健政会)



録画配信の
2次元コード

◆主なGWのイベント

①市が後援した今年のゴールデンウィーク、4月29日から5月7日までの市内イベントと来場者数は。

②各イベントに対する評価、認識は。

③来年度、本市は市制施行70周年となるが、冠を市民が一般的に使うことができるのか。(例:〇〇商店街市制施行70周年記念大特売会、市制施行70周年につきコロケ1個50円などの使い方)

環境経済部次長 ①ハイパーク・ミュージック・フェスティバル2023は2日間で約3,500人、義高の鯉のぼりは4日間で約1万8,000人であった。

生涯学習部長 ①市内スポーツクラブが主催したダンスや歌の発表会への後援を行い、入場者数は約400人であった。

環境経済部次長 ②地域の活性化や魅力の向上、郷土愛の醸成などにつながるものである。市としては、引き続き積極的に支援していきたい。

企画財政部長 ③70周年の節目を市民とともに祝い、市を挙げて機運を盛り上げていくことを目的として、既存の事業に周年の冠を付するものであり、具体的な取り扱いについては、現在検討中である。



「義高の鯉のぼり」は毎年大盛況

その他のテーマ▶ 一流地方都市の条件
▶ コンベンションセンター機能を有したホテル誘致